

北海道観光入込客数 令和5年度 4777万人、コロナ禍前の客数に迫る数値

令和5年度(2023年度)観光入込客数(実人数)

区分	日帰り	宿泊	計	構成比	
				前年度比	R元年度比
第1四半期(4~6月)	道内客	1,002万人	216万人	1,218万人	87.6%
	前年度比	+2.0%	+0.5%	+1.8%	
	R元年度比	▲10.2%	▲11.5%	▲10.4%	
	道外客	2万人	130万人	132万人	9.5%
第2四半期(7~9月)	道内客	1,241万人	302万人	1,543万人	85.4%
	前年度比	+17.6%	+30.2%	+19.9%	
	R元年度比	▲18.5%	+11.0%	▲14.0%	
	道外客	4万人	205万人	209万人	11.6%
第3四半期(10~12月)	道内客	573万人	155万人	728万人	82.8%
	前年度比	+33.9%	▲22.9%	+15.7%	
	R元年度比	+30.5%	▲33.2%	+8.5%	
	道外客	3万人	97万人	100万人	11.4%
第4四半期(1~3月)	道内客	399万人	150万人	549万人	78.7%
	前年度比	▲12.3%	▲23.1%	▲15.5%	
	R元年度比	▲7.0%	▲19.4%	▲10.7%	
	道外客	2万人	62万人	64万人	9.2%
年度計(4~3月)	道内客	3,215万人	823万人	4,038万人	84.5%
	前年度比	+10.1%	▲2.4%	+7.3%	
	R元年度比	▲8.3%	▲11.9%	▲9.1%	
	道外客	11万人	494万人	505万人	10.6%
外国人	前年度比	▲8.3%	+26.0%	+25.0%	
	R元年度比	▲42.1%	▲13.8%	▲14.7%	
	合計	401万人	297万人	698万人	100.0%
	前年度比	▲12.3%	▲9.7%	▲11.2%	
R元年度比	▲7.0%	▲7.8%	▲7.3%		
道内客	3,215万人	823万人	4,038万人	84.5%	
前年度比	+10.1%	▲2.4%	+7.3%		
R元年度比	▲8.3%	▲11.9%	▲9.1%		
道外客	11万人	494万人	505万人	10.6%	
前年度比	▲8.3%	+26.0%	+25.0%		
R元年度比	▲42.1%	▲13.8%	▲14.7%		
外国人	前年度比	▲8.3%	+26.0%	+25.0%	
R元年度比	▲42.1%	▲13.8%	▲14.7%		
合計	前年度比	▲8.3%	+26.0%	+25.0%	
R元年度比	▲42.1%	▲13.8%	▲14.7%		
合計	前年度比	+10.0%	+18.9%	+12.8%	100.0%
R元年度比	▲8.5%	▲11.4%	▲9.5%		

※数値は端数処理の関係上、合計等が合致しない場合がある

前年度比12.8%増、元年度比9.5%減

北海道経済部観光局観光振興課によると、令和5年度(5年4月~6年3月)の北海道への観光入込客数は4777万人、前年度比12.8%増加、コロナ禍前の令和元年度比9.5%減少した。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、前年度と比較すると10%以上伸び、コロナ禍前の客数に迫る数値となっている。このうち道内客は4038万人で、前年度比7.3%増(元年度比9.1%減)、道外客は505万人で、同25.0%増(同14.7%減)。日帰りの客は3556万人で、前年度比10.0%増(元年度比8.5%減)。宿泊客は1155万人で、同18.9%増(同11.4%減)。

訪日外国人来道客数は234万1600人、前年度比53.8%増加、元年度比4.1%減少した。国・地域別では韓国が65万9200人と最も多く、台湾(59万6700人)、中国(26万1700人)、香港(19万2千人)、タイ(13万6千人)、アメリカ(8万5900人)が続いている。

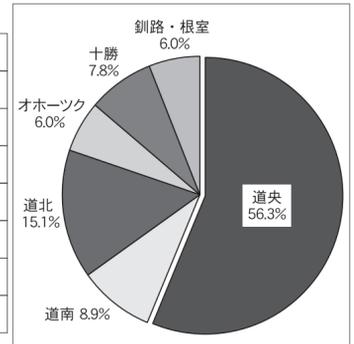
市町村における観光入込客数を合計した総数(延べ人数)は1億4619万人で、前年度比19.3%増加、元年度比も1.6%増加した。宿泊客延べ数の合計は3697万人泊で、前年度比15.5%、元年度比2.1%それぞれ増加した。

6の圏域別の観光入込客数(延べ人数)と宿泊客延べ数は、全ての圏域で前年度比増加した。入込客数は道央圏が前年度比24.3%増(最大値)、元年度比は24.3%増(最大値)と道央圏(4.3%増)で増加した。

圏域別観光入込客数(延べ人数)

圏域	観光入込客数	前年度比	対前年増減数	R元年度比	対R元年度増減数	構成比
道央	8,232万人	+24.3%	+1,609万人	+4.3%	+338万人	56.3%
道南	1,296万人	+14.1%	+160万人	▲1.9%	▲26万人	8.9%
道北	2,203万人	+15.2%	+290万人	▲2.5%	▲57万人	15.1%
オホーツク	871万人	+7.8%	+63万人	▲0.5%	▲4万人	6.0%
十勝	1,145万人	+11.2%	+116万人	+11.5%	+118万人	7.8%
釧路・根室	873万人	+16.4%	+123万人	▲13.8%	▲139万人	6.0%
合計	14,619万人	+19.3%	+2,361万人	+1.6%	+230万人	100.0%

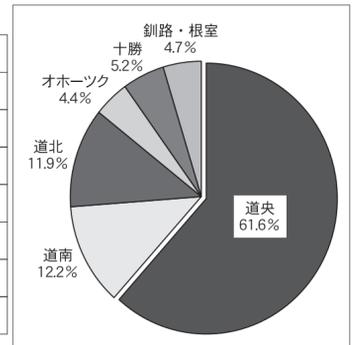
※各数値は、千人単位で四捨五入しているため合計が合致しない場合がある



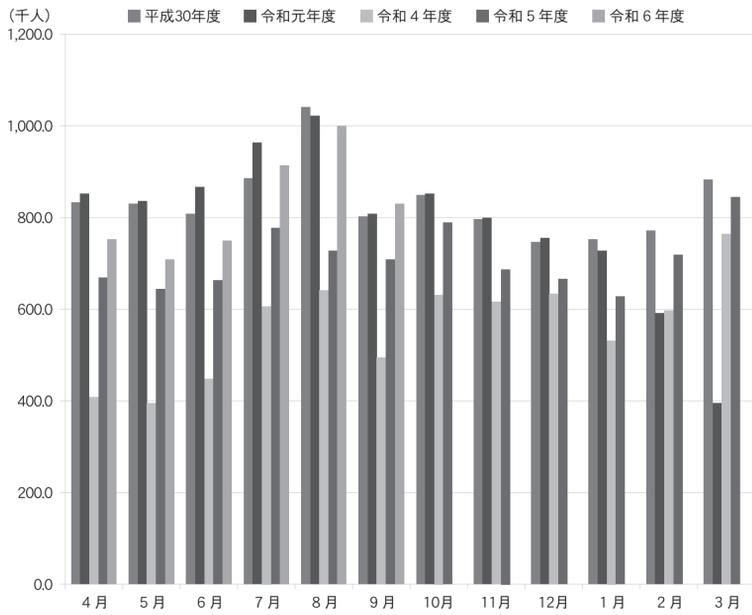
圏域別宿泊客(延べ人数)

圏域	宿泊客延べ数	前年度比	対前年増減数	R元年度比	対R元年度増減数	構成比
道央	2,278万人泊	+17.3%	+335万人泊	+5.6%	+121万人泊	61.6%
道南	451万人泊	+12.6%	+50万人泊	+2.4%	+11万人泊	12.2%
道北	440万人泊	+23.8%	+85万人泊	+1.3%	+6万人泊	11.9%
オホーツク	162万人泊	+5.9%	+9万人泊	▲7.9%	▲14万人泊	4.4%
十勝	191万人泊	+8.0%	+14万人泊	▲8.8%	▲19万人泊	5.2%
釧路・根室	175万人泊	+2.2%	+4万人泊	▲14.0%	▲28万人泊	4.7%
全道	3,697万人泊	+15.5%	+497万人泊	+2.1%	+77万人泊	100.0%

※各数値は、千人単位で四捨五入しているため合計が合致しない場合がある



月別入域観光客数の推移(平成30年度、令和元年度、令和4~6年度)



令和6年度上半期入域観光客の状況(令和5年度・令和元年度上半期との比較)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
令和6年度	752,300	710,400	748,000	915,400	1,000,000	831,000	4,957,100
令和5年度	669,800	645,200	663,400	778,800	728,600	710,100	4,195,900
増減数	82,500	65,200	84,600	136,600	271,400	120,900	761,200
増減率	12.3%	10.1%	12.8%	17.5%	37.2%	17.0%	18.1%
令和元年度	851,400	834,900	868,200	963,600	1,021,200	809,300	5,348,600
増減数	-99,100	-124,500	-120,200	-48,200	-21,200	21,700	-391,500
増減率	-11.6%	-14.9%	-13.8%	-5.0%	-2.1%	2.7%	-7.3%

令和6年度上半期の概況

沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課によると、令和6年度上半期(6年4~9月)の沖縄県への入域観光客数は495万7100人。前年度同期比18.1%増と、4年連続で増加した。コロナ禍前の令和元年度上半期との比較では、7.3%減少。

国内観光客数がコロナ禍前の水準を上回り、過去最高を記録。外国人観光客数は、国際航空路線やクルーズ船の再開・新規就航の進展により段階的に回復しつつあることから、下半期においても回復傾向が続くものと見込まれる。

令和6年度上半期国内観光客の状況(令和5年度・令和元年度上半期との比較)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
令和6年度	593,400	561,500	577,600	692,300	768,500	634,800	3,828,100
令和5年度	603,100	575,300	585,700	663,600	632,200	603,500	3,663,400
増減数	-9,700	-13,800	-8,100	28,700	136,300	31,300	164,700
増減率	-1.6%	-2.4%	-1.4%	4.3%	21.6%	5.2%	4.5%
令和元年度	601,100	566,500	569,800	660,800	738,300	590,600	3,727,100
増減数	-7,700	-5,000	7,800	31,500	30,200	44,200	101,000
増減率	-1.3%	-0.9%	1.4%	4.8%	4.1%	7.5%	2.7%

国内観光客の概況

令和6年度上半期において、4~6月期は全国旅行支援の反動減などの影響により、前年度同期比で減少した。

一方、7~9月期は夏休み期間中の旅行需要を見込んだ航空会社の臨時便・増便・季節運航などが好調に推移したことから前年度同期比で増加した。

6~9月期は令和元年度同期比でも増加し、コロナ禍前の水準を上回っている。

令和6年度上半期外国人観光客の状況(令和5年度・令和元年度上半期との比較)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
令和6年度	158,900	148,900	170,400	223,100	231,500	196,200	1,129,000
令和5年度	66,700	69,900	77,700	115,200	96,400	106,600	532,500
増減数	92,200	79,000	92,700	107,900	135,100	89,600	596,500
増減率	138.2%	113.0%	119.3%	93.7%	140.1%	84.1%	112.0%
令和元年度	250,300	268,400	298,400	302,800	282,900	218,700	1,621,500
増減数	-91,400	-119,500	-128,000	-79,700	-51,400	-22,500	-492,500
増減率	-36.5%	-44.5%	-42.9%	-26.3%	-18.2%	-10.3%	-30.4%

※8月および9月については速報値

外国人観光客の概況

令和6年度上半期は、航空路線の再開・新規就航、クルーズ船寄港回数の増加などにより、前年度同期比で59万6500人の増となった。

令和元年度上半期と比べると、中国本土便など一部航空路線の運休継続の影響により69.6%の水準にとどまっている。しかし、航空路線の復便や、クルーズ船寄港回数の増加などに伴い、段階的に回復している。

下半期は、那覇-台北路線の増便、バンコク-台北經由沖縄路線および那覇-台中路線の新規就航、大型クルーズ船(台湾、中国本土発着)の多数寄港予定などにより、さらなる回復が見込まれている。

前年度同期比で4年連続増加 沖縄県、令和6年度上半期入域観光客数